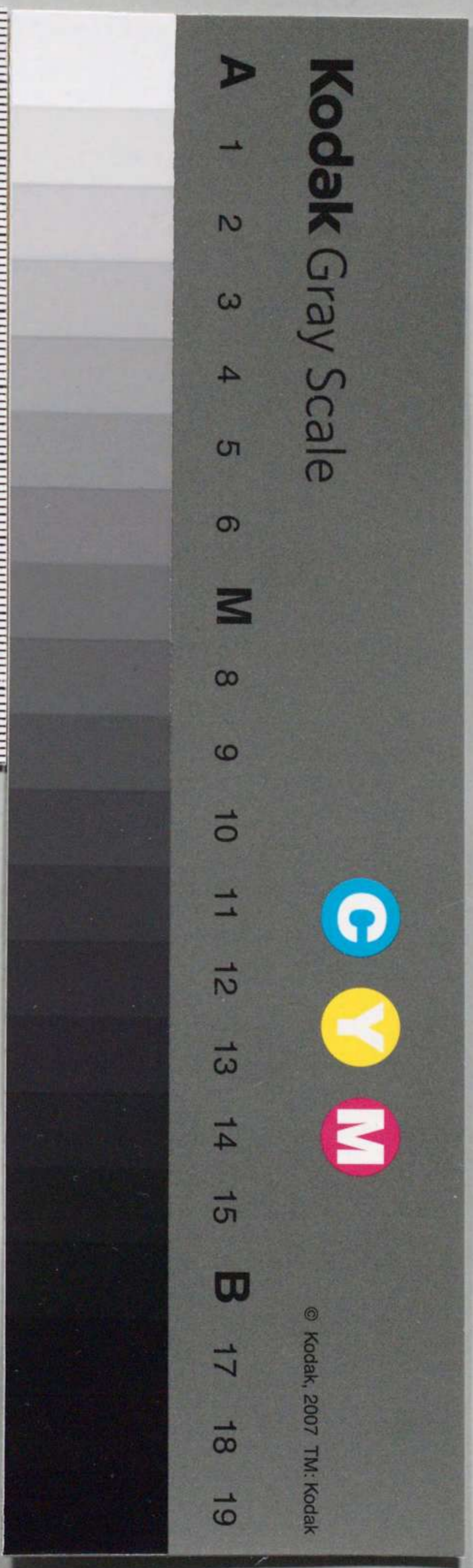
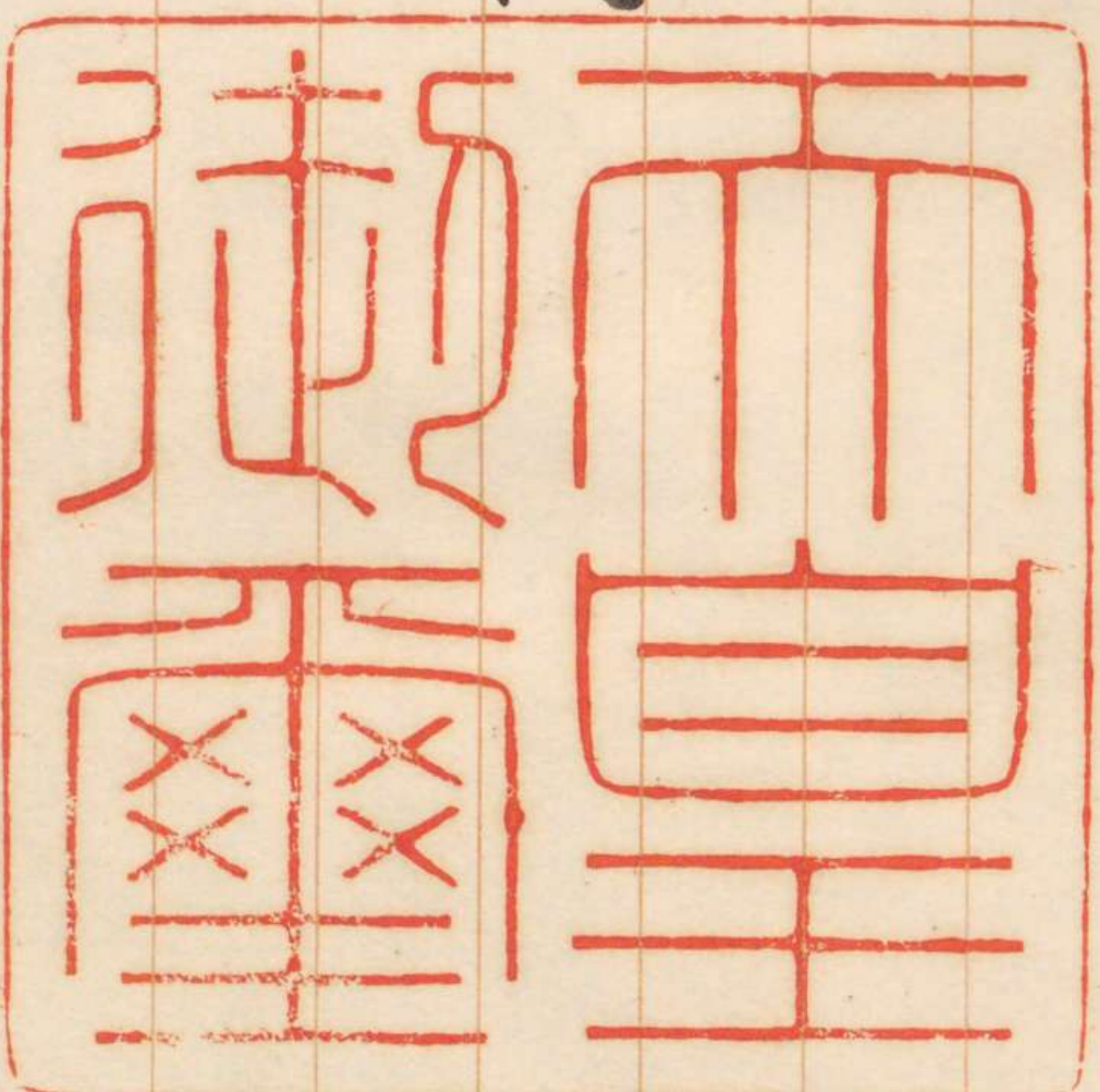


勅令第百三十九号



朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ陸軍召集條例
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十九年十一月十二日

月

陸軍大臣子爵為島勲之物

勅令第三百六十四號
陸軍召集條例

第一章 綱領

第二章 充員召集

第一款 總則

第二款 充員召集準備

第三款 充員召集實施

第四款 充員召集準備、復舊

第三章 國民兵召集

第一款 總則

第二章 國民兵召集準備

第三款 國民兵召集實施

第四章 演習召集

第一款 總則

第二款 演習召集準備

第三款 演習召集實施

第五章 教育召集

第一款 總則

第二款 教育召集準備

第三款 教育召集實施

第六章 補缺召集

第七章 簡閱點呼

第一款 總則

第二款 簡閱點呼準備

第三款 簡閱點呼實施

附則

陸軍召集條例

第一章 綱領

第一條 本條例ハ戰時若クハ事變ニ際

シ陸軍ヲ動員スル為メ及平時ニ於テ

演習教育補缺簡閲點呼ヲ行フ為メ在

郷ノ陸軍軍人及兵役義務アル者ノ召

集ニ關スル事ヲ規定ス

第二條 各師團及警備隊ノ召集區ハ當

該師團及警備隊區トス

召集ハ召集區ニ於テスルヲ例トス但
場合ニ依リ召集區外ニ召集スルコト
アルニシ

第三條 在郷軍人及兵役義務者ノ召集
ハ召集區所管ノ師團長之ヲ行フ
將官同相當官ノ召集ハ本條例ノ規定
ニ依ラス陸軍大臣ノ命令ニ基キ師團
長直ニ之ヲ行フ

第四條 戒嚴ヲ宣告シ得ル権アル司令
官時機切迫ニシテ命ヲ請フ途ナキト

ハ獨斷シテ充實召集令及國民兵召集
令ヲ下スコトヲ得此ノ場合ニ於テ該
司令官ハ召集ニ關シ師團長ト同一ノ
職権ヲ有ス

第五條 在郷軍人及補充兵ヲ召集スル
ニハ召集令状ヲ用シ其ノ編入スヘキ
部隊並ニ到着地點及其ノ期日ヲ指定
スヘシ

後備役屯田兵下士以下ヲ召集スルニ
ハ召集令状ヲ用シテ召集令ヲ本

人ニ達スヘシ

國民兵ヲ召集スルニハ召集令傳達書ヲ用ニ其ノ集合地點及其ノ期日ヲ指定スヘシ

簡閱點呼ヲ為スニハ點呼令狀ヲ用ニ

點呼場及其ノ到着日時ヲ指定スヘシ

第六條 召集事務ニ關シ師團長ノ為シ

タル規定ハ地方長官警視總監憲兵司令官及憲兵隊長之ヲ遵行スヘシ

第七條 師團長ハ定期ニ若クハ臨時ニ

聯隊區司令部並ニ地方官廳及公署ニ

於ケル召集事務ノ整否ヲ検査シ又ハ

部下將校ヲシテ之ヲ検査セシムヘシ

地方長官警視總監憲兵司令官憲兵隊

長ハ其ノ所部召集事務ノ整否ヲ検査

シ又ハ部下官吏ヲシテ之ヲ検査セシ

ムヘシ

第八條 充實召集及國民兵召集旅費支

出ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第九條 此ノ條例中聯隊區司令官同副

官ノ職務ハ警備隊區ニ在テハ警備隊司令官同副官郡長ノ職務ハ島廳ヲ置ク島嶼ニ在テハ島司郡長及町村長ノ職務ハ市ニ在テハ市長東京市京都市大阪市及市制町村制ヲ施行セサル地方町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ戸長及之ニ準スヘキ者之ヲ行フ後備役屯田兵下士以下ノ召集事務ニ關シ郡長及町村長ノ職務ハ屯田兵村監視之ヲ行フ

第十條 此ノ條例中聯隊區司令部トアルハ警備隊司令部ニ郡トアルハ島廳

ヲ置キタル島嶼市東京市京都市大阪市及市制町村制ニ當該ス施行セサル地方ニ在テハ

第十一條 島嶼ニ於テ此ノ條例中ノ規定ヲ實施スルコト能ハサルトキハ師團長適宜ノ方法ヲ設クルコトヲ得

第二章 充員召集

第一款 總則

第十二條 充員召集トハ動員ニ際シ陸

軍ノ全部若クハ一部ヲ充員スル為メ
及動員完結後缺員ヲ補充スル為メ其
ノ要員ヲ召集スルヲ謂フ

第十三條 充員召集事務ニ關シ職責ア
ル者ハ平時豫メ之ニ關スル行務ヲ計
畫準備シ有事ノ際決シテ遺算無キヲ
要ス

第十四條 充員召集發令後ハ召集事務
ニ關シ訓示ヲ請フコトヲ許サス

第二款 充員召集準備

第十五條 充員召集ニ關スル諸準備ハ
動員年度ノ初日ニ於ケル現在員ヲ豫
定シテ之ヲ為シ此ノ期日以前ニ結了
スヘシ

第十六條 師團長ハ諸部團隊ヲ同時ニ
或ハ各別ニ充員シ得ヘク準備スヘシ

第十七條 師團長ハ毎年諸部團隊ノ充
員要員ヲ定メ將校佐官同相當官尉官
及准士官同相當官及准士官
ヲ謂フ、以テ人及下士以下ハ人員ヲ以
テ各聯隊區ニ配當シ之ヲ聯隊區司令

官ニ達スヘシ

師團長ハ他ノ師管ヨリ召集ニ應スヘ

キ者アルトキハ前項ニ依リ該師管ノ

聯隊區ニ配當シ之ヲ本籍所管ノ師團

長ニ通知ス本籍所管ノ師團長ハ之ヲ

聯隊區司令官ニ達スヘシ

第十八條 聯隊區司令官前條ノ配當ヲ

受クルトキハ之ニ基キ聯隊區ノ充員

名簿ヲ作り更ニ各郡ノ充員名簿及召

集令状ハ屯田兵村ノ後充員名簿ニ在テヲ作り

之ヲ郡長ニ送付スヘシ

警備隊司令官ハ自ラ警備隊ノ充員要

員ヲ定メ前項ノ取扱ヲ為スヘシ

第十九條 郡長充員名簿並ニ召集令状

ヲ受領シタルトキハ召集令状ニ所要

ノ記入ヲ為シ各町村ノ充員名簿ヲ作

リ召集令状ト共ニ町村長ニ送付スヘ

シ

第二十條 町村長充員名簿並ニ召集令

状ヲ受領シタルトキハ之ヲ保管シ召

集ニ當リ速ニ召集令状ヲ本人ニ交付

スルノ準備ヲ為スヘシ

町村長ニ充員名簿ニ記載シ在ル應召

員將校以下各集ニ應スヘキ者ヲ謂フ、以下同シ其ノ編入

セラルヘキ部隊並ニ到着地ヲ豫メ通

知スヘシ

第二十一條 召集ニ際シ應召員ノ宿泊

ニ供スル為メ軍用旅舎ヲ定メ之ニ者

板及標旗若クハ標燈ヲ掲ケシメ又通

行ニ支障無カラシムル等召集ヲ容易

ナラシムル為メ地方長官ハ豫メ憲兵

隊長東京府ニ在テハ警視總ト協議シ

相當ノ措置ヲ為スヘシ

第三款 充員召集實施

第二十二條 師團長ニ動員令ニ從ヒ其

ノ師團ノ全部或ハ一部ヲ充員スル為

メ充員召集令ヲ部下諸部團隊長ニ達

シ地方長官並ニ憲兵隊長ニ通知スヘ

シ

他ノ師管ヨリ召集ニ應スヘキ者アル

トキハ其ノ本籍所管ノ師團長ニ通知
シ該師團長ニ之ヲ聯隊區司令官ニ達
シ地方長官並ニ憲兵隊長ニ通知スヘ
シ

第二十三條 充員召集令ヲ受ケタル官
衙並ニ公署ハ直ニ軍事警報ヲ揭示ス
ルモノトス但師團長ハ陸軍大臣ノ命
ニ依リ之ヲ揭示セシメサルコトヲ得
第二十四條 召集令ニ確實迅速ナル方
法ヲ以テ通達スヘシ

第二十五條 聯隊區司令官充員召集令
ヲ受クルトキハ直ニ之ヲ郡長ニ達ス
ヘシ

聯隊區司令官ハ召集期日前ニ其ノ司
令部員若干ニ充員名簿戰時名簿補充兵
シテ戰時名簿無キ者ヲ携帶セシメ充
員交付官トシテ豫定ノ場所ニ到リ召
集事務所ヲ開設セシムヘシ
第二十六條 地方長官充員召集令ヲ受
クルトキハ之ヲ郡長其ノ他關係アル

官衙ニ達スヘシ

憲兵隊長充員召集令ヲ受クルトキハ
之ヲ其ノ部下ニ達スヘシ

第二十七條 郡長地方長官若クハ聯隊

區司令官ヨリ充員召集令ヲ受クルト

キハ其ノ何レヨリ受クルヲ問ハス速

ニ之ヲ町村長ニ達シ召集事務ニ服行

スヘシ

屯田兵村監視充員召集令ヲ受クルト

キハ之ヲ應召員ニ達スヘシ

第二十八條 町村長充員召集令ヲ受ク

ルトキハ召集令状ニ所要ノ記入ヲ為

シ直ニ豫定ノ方法ヲ以テ之ヲ應召員

又ハ召集通報人ニ交付シ受領證ヲ受

取ルヘシ

召集通報人ヲ設ケサル不在者ニ在テ

ハ其ノ戸主本人戸主又ハ戸主不在ナ

當スル者ニ交付スヘシ

町村長ハ第一項第二項ニ依リ召集令

状ヲ交付シタル者ノ人名並ニ事故ア

リテ之ヲ交付シ得サル者ノ人名其由事由シテ記テ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ
第二十九條 應召員ニ代リ召集令状ヲ
受領シタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ本人ニ
通報シ召集令状ヲ速ニ本人ニ交付ス
ルノ處置ヲ為スヘシ

第三十條 將校召集令状ヲ受領スルト
キハ旅費ヲ受領シテ速ニ所命ノ地ニ
到着シ其ノ召集事務所ニ届出ヘシ
第三十一條 下士以下ノ應召員召集令

状ヲ受領スルトキハ旅費ヲ受領シ其
ノ令状ニ定メラレタル期日ニ所命ノ
地ニ到着シ召集事務所ニ届出ヘシ
第二補充兵第一補充兵ニシテ教育ハ
郡毎ニ郡ノ吏員之ヲ引率シ召集事務
所ニ到リ充員交付官ニ交付スヘシ
第三十二條 憲兵及警察官吏ハ町村長
ヨリ第二十八條第三項ノ通知ヲ受ク
ルトキハ其ノ應召員ヲシテ所命ノ期
日ニ應召セシムルノ處置ヲ為スヘシ

第三十三條 召集令状ヲ受領スルモ傷
痍疾病ノ為ノ應召スルコト能ハサル
者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添ヘ本人ヨリ
聯隊區司令官ニ宛テタル届書ヲ召集
令状受領後二十四時間以内ニ西村長
ニ差出スヘシ
旅行犯罪失踪等ノ為ノ應召スルコト
能ハサル者アルトキハ召集令状ヲ受
領シタル者ヨリ召集令状受領後二十
四時間以内ニ聯隊區司令官ニ宛テタ

ル届書ヲ西村長ニ差出スヘシ但犯罪
失踪等ニ係ルトキハ憲兵若クハ警察
官吏ノ證明書ヲ添フヘシ
西村長第一項第二項ノ届書ヲ受領ス
ルトキハ調査ノ上毎日之ヲ取纏メテ
郡長ニ差出スヘシ郡長ハ毎日之ヲ取
纏メテ聯隊區司令官ニ差出スヘシ
第三十四條 前條第一項第二項ノ場合
ニ於テ應召スルコト能ハサル者其ノ
事故止ミタルトキハ直ニ西村長ニ届

内
期

出テ其ノ指揮ヲ受クヘシ
前項ノ場合ニ於テ町村長ハ其ノ充員
完結前ニ在テハ召集令状ノ裏面ニ其
ノ事由及出發日時ヲ記シ本人ヲシテ
旅費ヲ受領シ出發セシメ其ノ充員完
結後ニ在テハ其ノ出發ヲ差止メ置ク
ヘシ

町村長ハ前項ノ者アルトキハ毎日之
ヲ取纏メテ郡長ニ報告シ郡長ハ毎日
之ヲ取纏メテ聯隊區司令官ニ報告ス

第三十五條

應召員途中ニ於テ已ムヲ

得サル事故ノ爲メ到着ヲ遅延スル場

合ニ在テ其ノ事故傷痍疾病ナルトキ

ハ醫師ノ診斷證書ヲ其ノ他ハ郡長町

村長憲兵警察官吏船長若クハ驛長ニ

就キ證明書ヲ受領シ到着ノ上召集事

務所ニ差出スヘシ

第三十六條

應召員非常ノ情況ニ際シ

交通斷絶シ所命ノ地ニ到着スルコト

能ハサル場合ニ在テハ其ノ旨ヲ最寄
諸部團隊諸部團隊無キ地ニ在ラハ
郡長、町村長、憲兵、警察官吏ニ
届出ヘシ

前項ノ届出ヲ受ケタル者ハ適宜ノ處
置ヲ爲シ事情之ヲ許スニ至レハ其ノ
事由ヲ證明シ本人ヲ所命ノ地ニ到着
セシムヘシ

第三十七條 應召員中過負若クハ事故
ニ依リ歸郷ヲ命セラレタル者ハ陸軍
服役條例第八條第二十九條第八十條

第一百十八條第一百三十七條ノ例ニ依リ
届出ヘシ補充兵ニ在テハ同條例第百
三十七條ノ例ニ依リ届出ヘシ

第三十八條 正當ノ事由無クシテ第二十九條
ノ規定ニ背ク者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス
正當ノ事由無クシテ第三十三條第一項第二項
第三十四條第一項第三十六條第一項ノ
規定ニ背ク者ハ五十錢以上一圓九十
五錢以下ノ料料ニ處シ又ハ五日以上
十日以下ノ拘留ニ處ス

第三十七條ノ届出ヲ怠ル者ハ五錢以
上一圓九十五錢以下ノ料料ニ處ス

第三十九條 充員完結スルトキハ諸部團
隊長ハ之ヲ師團長ニ報告シ師團長ハ之
ヲ地方長官並ニ憲兵隊長ニ通知シ地方
長官ハ之ヲ郡長其ノ他關係アル官衙ニ
憲兵隊長ハ之ヲ其ノ部下ニ達スヘシ
他ノ師管ヨリ召集ニ應シタル者アル
トキハ師團長ハ尚ホ其ノ本籍所管ノ
師團長ニ通知シ該師團長地方長官並

ニ憲兵隊長ハ前項ノ通達ヲ為スヘシ
郡長第一項第二項ノ達ヲ受クルトキ
ハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

第四十條 動員完結後缺員ヲ補充スル
爲メノ充員召集ハ必要ニ應シ師團長
自ニ之ヲ行フ此ノ場合ニ於テハ第二
十二條乃至第三十九條ノ例ニ依ル

第四十一條 復員令下ルトキハ師團長
ハ諸部團隊長ニ達シ地方長官並ニ憲

兵隊長ニ通知シ地方長官ハ之ヲ郡長
其ノ他關係アル官衙ニ憲兵隊長ハ之
ヲ其ノ部下ニ達スヘシ
他ノ師管ヨリ召集ニ應シタル者アルト
キハ師團長ハ尚ホ其ノ本籍所管ノ師
團長ニ通知シ該師團長地方長官並ニ
憲兵隊長ハ前項ノ通達ヲ爲スヘシ
郡長第一項第二項ノ達ヲ受クルトキ
ハ之ヲ町村長ニ達スヘシ
第四十二條 師團長ハ復員後勉メテ速

ニ充員召集準備ヲ復舊スルモノトス
第四十三條 復員ニ方リ歸郷ヲ命セラ
レタル者ハ第三十七條ヲ適用ス其
ノ規定ニ背ク者ハ第三十八條第二
項ヲ適用ス

第三章 國民兵召集

第一款 總則

第四十四條 國民兵召集ニ關シテハ本
章規定スルモノヲ除クノ外第十三條
第十四條第十五條第十六條第二十一

朝

條第二十二條第二十三條第二十四條
第二十六條第二十七條第一項第三十
九條第四十條第四十一條第四十二條
、規定ニ準據スヘシ

第四十五條 國民兵召集ヲ分テ第一國
民兵召集第二國民兵召集ノ二種トス
第四十六條 第一第二國民兵ニ所要ニ
應シ年齡若キ者ヨリ之ヲ召集スルヲ
例トス但幹部ニ充ツヘキ者ハ年齡ニ
關セス之ヲ召集スルコトヲ得

第四十七條 第二國民兵中十七歳以上
二十一歳未滿ノ者ハ特別ノ命令アル
ニ非レハ之ヲ召集スルコトナシ

第二款 國民兵召集準備

第四十八條 町村長ハ毎年一回其ノ管
内ニ在籍スル第一第二國民兵ノ人負
表各二通ヲ製シ各一通ヲ郡長ニ差出
シ佗ハ之ヲ保管スヘシ

第四十九條 郡長前條ノ人負表ヲ受領
シタルトキハ其ノ管内ノ第一第二國

民兵人負表ヲ各別ニ調製シ之ヲ聯隊
區司令官ニ送付スヘシ

第五十條 聯隊區司令官前條ノ人員表

ヲ受領シタルトキハ其ノ管内ノ第一

第二國民兵人負表ヲ各別ニ調製シテ
之ヲ師團長ニ差出スヘシ

第五十一條 師團長ハ聯隊區司令官ニ

召集スヘキ人負編成地編成地到着期
日及集合同場ヲ達スヘシ但召集人負ヲ
定ムルニハ召集總負ヲ率トシ各聯隊

區ニ於テ
者ノ人負
當スルモ
之ヲ各聯隊區ニ配
當スルモ

第五十二條 聯隊區司令官前條ノ達ヲ

受クルトキハ

場到着期日ヲ

郡長ニ達スヘ
但聯隊區司令官其ノ

人負ヲ定ムル
召集總負ヲ率トシ

各郡ニ於テ召集スヘキ年齢ニ相當ス

ル者ノ人負ニ比例シ之ヲ各郡ニ配當



民兵人負表ヲ各別ニ調製シ之ヲ聯隊
區司令官ニ送付スヘシ

第五十條 聯隊區司令官前條ノ人員表

ヲ受領ルトキハ其ノ管内ノ第一

第二國府ノ人員表ヲ各別ニ調製シテ

之ヲ師團ニ差出スヘシ

第五十一條 師團長ハ聯隊區司令官ニ

召集スヘシ編成地編成地到着期

日及召集日但召集人負ヲ

定ムル

人負ヲ率トシ各聯隊



區ニ於テ召集スヘキ年齢ニ相當スル
者ノ人負ニ比例シ之ヲ各聯隊區ニ配
當スルモトス

第五十二條 聯隊區司令官前條ノ連ヲ

受クルトキハ召集スヘキ人負及集合

場到着期日ヲ定メ集合場ト共ニ之ヲ

郡長ニ達スヘシ但聯隊區司令官其ノ

人負ヲ定ムルニハ召集總人負ヲ率トシ

各郡ニ於テ召集スヘキ年齢ニ相當ス

ル者ノ人負ニ比例シ之ヲ各郡ニ配當

スルモノトス

第五十三條 郡長前條ノ達ヲ受クルト
キハ之ヲ町村長ニ達スヘシ但召集ス
ヘキ人負ハ召集總員ヲ率トシ各町村
ニ於テ召集スヘキ年齢ニ相當スル者
ノ人負ニ比例シ之ヲ各町村ニ配當ス
ルモノトス

第五十四條 町村長前條ノ達ヲ受クル
トキハ國民兵豫定應召人名簿並ニ國
民兵召集令傳達書ヲ調製シ召集準備

ヲ為スヘシ

第三款 國民兵召集實施

第五十五條 師團長ハ國民軍召集ノ命
下ルトキハ其ノ趣旨ニ從ヒ國民兵召
集令ヲ發スヘシ

時機ニ依リ師團長ハ一部ノ地方ヲ限
リ國民兵召集ヲ施行スルコトヲ得

第五十六條 聯隊區司令官國民兵召集
令ヲ受クルトキハ直ニ之ヲ郡長ニ達
スヘシ

聯隊區司令官若クハ副官ハ應召員集
合期日前ニ司令部員若干ヲ率井其ノ
集合場ニ出張スヘシ

第五十七條 郡長地方長官若クハ聯隊
區司令官ヨリ國民兵召集令ヲ受クル
トキハ直ニ之ヲ西村長ニ達スヘシ
郡長ハ應召員受領ノ爲メ集合期日前
ニ吏員若干ヲ集合場ニ派遣スヘシ
第五十八條 西村長前條ノ達ヲ受クル
トキハ豫定應召人名簿ニ記載シ在ル

者ニ國民兵召集令傳達書ヲ交付シ受
領證ヲ受取ルヘシ
旅行犯罪失踪等ノ爲メ不在ノ者ニ於
テハ其ノ戸主ニ交付スヘシ
西村長ハ第一項第二項ニ依リ召集令
傳達書ヲ交付シタル者ノ人名並ニ事
故ニ依リ交付シ得サル者ノ人名其事由
ヲ註ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ
憲兵及警察官吏前項ノ通知ヲ受クル
トキハ其ノ應召員ヲシテ所命ノ期日

ニ應召セシムルノ處置ヲ爲スヘシ

第五十九條 應召員國民兵召集令傳達

書ヲ受領シタルトキハ集合場迄ノ旅

費ヲ受領シ訣傳達書ヲ携ヘ町村長ノ

引率ヲ受ケ集合場ニ到着スヘシ

町村長ハ集合期日ニ應召員ヲ引率シ

テ集合場ニ到リ豫定應召人名簿ト共

ニ之ヲ郡ノ吏員ニ交付スヘシ

第六十條 應召員ニ代リ召集令傳達書ヲ

受領シタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ本人ニ通

報シ召集令傳達書ヲ速ニ本人ニ交付

スルノ處置ヲ爲スヘシ

正當ノ事由無クシテ前項ノ規定ニ背

ク者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ

第六十一條 聯隊區司令官若クハ副官

ハ集合場ニ於テ郡ノ吏員ヨリ應召員

竝ニ豫定應召人名簿ヲ受領スルトキ

ハ應召員ノ身體検査ヲ行ヒ其ノ不合

格若クハ過員ノ者ニハ旅費ヲ給シテ

歸郷セシメ其ノ他ハ之ヲ引率シテ編

成地ニ到リ豫定應召人名簿ト共ニ師
團長ノ指定スル部隊長ニ交付スヘシ
第六十二條 國民兵召集令傳達書ヲ受
領スルモ傷痍疾病ノ爲ノ應召スルコ
ト能ハサル者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添
ヘ召集令傳達書受領後二十四時間以
内ニ町村長ニ届出ヘシ
旅行犯罪失踪等ノ爲ノ應召スルコト能ハ
サル者アルトキハ召集令傳達書ヲ受
領シタル者ヨリ召集令傳達書受領後二

十四時間以内ニ町村長ニ届出ヘシ
第一項第二項ノ届出ヲ怠ル者ハ五十錢以
上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ又
ハ五日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第四章 演習召集

第一款 總則

第六十三條 演習召集トハ豫備役及備役
將校下士兵卒及第一補充兵ノ勤務演習
召集並ニ歸休兵ノ演習召集ヲ謂フ
第六十四條 師團長ハ在郷軍人及第一補

充兵ヲ演習ノ爲ノ各部隊ニ召集ス但寄
留地ニ於テ演習應召ヲ許可シタル者
ハ其ノ寄留地ノ師團長之ヲ召集ス
第六十五條 第六十三條演習召集ノ外
特別ノ命令ヲ以テ充員召集ノ演習ヲ目
的トスル演習召集ヲ行フコトアリ
第六十六條 本籍所在ノ師管ニ於テ勤務
演習ヲ爲スヘキ部隊無キ者ハ他ノ師管
ノ部隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サシム
第六十七條 一年志願兵終末試験及第

證書ヲ所持スル者ノ勤務演習召集ニ
關シテハ陸軍補充條例ニ依ルノ外尚
ホ本章ノ規定ニ依ル士官適任證書ヲ
所持スル者ノ勤務演習召集亦同シ
第六十八條 後備役屯田兵下士以下ノ
演習召集ニ關スル規定ハ第七師團長
之ヲ定ム

第二款 演習召集準備

第六十九條 演習ニ召集スヘキ者ハ將
校ハ人名下士兵卒及第一補充兵ハ豫

定人員ヲ以テ師團長ヨリ關係ノ諸部
團隊長ニ達スヘシ

第七十條 聯隊區司令官前條ノ達ヲ受
クルトキハ下士兵卒及第一補充兵ノ
人名ヲ定メ寄留地應召者ヲ加ヘ各郡
毎ニ召集スヘキ將校下士兵卒及第一
補充兵ノ演習召集名簿並ニ演習召集
令狀ヲ作り其ノ令狀ハ自ラ之ヲ保管
シ名簿ハ之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第七十一條 郡長前條ノ名簿ヲ受領ス

ルトキハ旅費金額ヲ計算シテ之ニ記
入シ更ニ各町村ノ演習召集名簿ヲ作
リ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第七十二條 町村長前條ノ名簿ヲ受領
スルトキハ其ノ年勤務演習ニ召集セ
ラルヘキ者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第三款 演習召集實施

第七十三條 演習召集ヲ行フニハ師團
長召集スヘキ在郷軍人及第一補充兵
ノ種類召集期日及召集日數ヲ諸部團

隊長ニ達シ 地方長官並ニ憲兵隊長ニ
通知スヘシ

第七十四條 地方長官前條ノ通知ヲ受
クルトキハ之ヲ郡長其ノ他關係アル
官衙ニ達スヘシ

憲兵隊長前條ノ通知ヲ受クルトキハ
之ヲ其ノ部下ニ達スヘシ

第七十五條 聯隊區司令官第七十三條
ノ達ヲ受クルトキハ演習召集令状ニ
所要ノ記入ヲ爲シ之ヲ郡長ニ送付シ

召集スヘキ將校下士兵卒及第一補充
兵ノ連名簿ヲ其ノ召集部隊長ニ送付
スヘシ

第七十六條 郡長第七十四條第一項ノ
達ヲ受クルトキハ之ヲ町村長ニ達ス
ヘシ

郡長 前條ノ演習召集令状ヲ受領
スルトキハ之ニ所要ノ記入ヲ爲シ町
村長ニ送付スヘシ

第七十七條 町村長 前條ノ演習召集

集令状ヲ受領スルトキハ之ヲ本人又ハ召集通報人ニ交付スヘシ

第七十八條 應召員演習召集令状ヲ受領シタルトキハ旅費ヲ受領シテ令状ニ示ス期日ニ其ノ召集部隊ニ到着スヘシ

第七十九條 傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ依リ演習召集ニ應スルコト能ハサル者ハ町村長、奥書證印ヲ受ケタル届書ヲ入隊期日迄ニ郡長ヲ經テ聯隊區

司令官ニ差出スヘシ但傷痍疾病ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フヘシ

前項ノ届出ヲ怠ル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ五日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第八十條 演習召集ニ際シ父母、疾病危篤又ハ死亡ノ爲メ召集、延期ヲ願フ者アルトキハ將校ニ在テハ師團長下士兵卒及補充兵ニ在テハ聯隊區司令官ニ於テ十四日以内ノ延期ヲ許ス

一シ

將校ニ在テハ其ノ願書ヲ聯隊區司令官ヲ經テ師團長ニ差出ス一シ
下士兵卒及補充兵ニ在テハ其ノ願書ニ町村長ノ奥書證印ヲ受ケ其ノ父母疾病危篤ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添ヘ郡長ヲ經テ聯隊區司令官ニ差出ス一シ

第八十一條 第七十九條第一項第八十條第一項ニ依リ應召スルコト能ハサル者其ノ事故止ニ召集期日ノ翌日ヨリ計算シ十日以内ニ到着シ得ル者ハ其ノ召集部隊ニ到着ス一シ但演習ノ種類ニ依リ師團長必要ト認ムルトキハ此ノ日限ヲ變更スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ將校ニ在テハ聯隊區司令官ヲ經テ師團長ニ下士兵卒及補充兵ニ在テハ町村長及郡長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ス一シ
第一項ノ規定ニ背ク者ハ五十錢以上

内 罰

一圓九十五錢以下ノ料料ニ處シ又ハ五日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第八十二條 第二十八條第二項第三項

第三十二條第三十五條ハ本款ニ之ヲ適用ス

適用ス

第二十九條ハ本款ニ之ヲ適用ス其ノ

規定ニ背ク者ハ第三十八條第一項

ヲ適用ス

第八十三條 演習ヲ終リ又ハ召集中事

故ニ依リ歸郷ヲ命セラレタル者ハ

第三十七條ヲ適用ス其ノ規定ニ背ク者ハ第三十八條第三項ヲ適用ス

第五章 教育召集

第一款 總則

第八十四條 教育召集トハ教育ノ爲メ

第一補充兵ヲ召集スルヲ謂フ

第八十五條 教育召集ハ第一補充兵服

役ノ初年ニ於テ行フ例トス

第二款 教育召集準備

第八十六條 聯隊區司令官ハ毎年二月

一日ニ於ケル第一補充兵、現在員ヲ
調査シ之ヲ各兵種ニ分チ師團長ニ報
告シ師團長ハ其ノ年教育スヘキ人員
ヲ諸部團隊長ニ達スヘシ
聯隊區司令官ハ各郡ノ教育召集名簿
ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ
第八十七條 郡長前條ノ名簿ヲ受領ス
ルトキハ旅費金額ヲ計算シテ之ニ記
入シ更ニ各町村ノ教育召集名簿ヲ作
リ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第三款 教育召集實施

第八十八條 教育召集ヲ行フニハ應召
員ヲ先ツ聯隊區司令部所在地若クハ
便宜ノ地ニ集合シ聯隊區司令部員若
クハ其ノ他ノ下士兵卒ヲシテ召集地
ニ引率セシムルモ、トス但應召員五
人未滿ナルトキハ單行セシム
第八十九條 教育召集ヲ行フトキハ師
團長其ノ兵種召集期日及召集日數ヲ
聯隊區司令官ニ達シ地方長官並ニ憲

兵隊長ニ通知スヘシ

第九十條 地方長官前條ノ通知ヲ受ク

ルトキハ之ヲ郡長其ノ他關係アル官

衙ニ達シ管内ニ告示スヘシ

憲兵隊長前條ノ通知ヲ受クルトキハ

之ヲ其ノ部下ニ達スヘシ

郡長第一項ノ達ヲ受クルトキハ之ヲ

町村長ニ達スヘシ

第九十一條 聯隊區司令官第八十九條

ノ達ヲ受クルトキハ教育召集令状ヲ

作り郡長ニ送付シ郡長ハ之ヲ町村長

ニ送付シ町村長ハ之ヲ本人又ハ召集

通報人ニ交付スヘシ

第九十二條 應召員教育召集令状ヲ受

領シタルトキハ旅費ヲ受領シ令状ニ

示ス期日ニ其ノ集合地又ハ部隊ニ到

着シ第八十八條ノ引率員又ハ該部隊

ニ届出ヘシ

第九十三條 第二十八條第二項第三項

第三十二條第三十五條第七十九條第

八十條第八十一條ハ本款ニ之ヲ適用ス

第二十九條ハ本款ニ之ヲ適用ス其ノ規定ニ背ク者ニハ第三十八條第一項ヲ適用ス

第九十四條 教育ヲ終リ歸郷ヲ命セラレタル者ハ陸軍服役條例第百三十七條ノ例ニ依リ届出ヘシ
前項ノ届出ヲ怠ル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第六章 補缺召集

第九十五條 補缺召集トハ平時ニ於テ

臨時兵員ノ補缺ヲ要スルトモ歸休兵ヲ召集スルヲ謂フ

第九十六條 補缺召集ハ陸軍大臣ノ命ニ依リ師團長之ヲ行フ其ノ手續ハ第四章ヲ準用ス

第七章 簡閱點呼

第一款 總則

第九十七條 簡閱點呼トハ在郷下士兵

卒及第一補充兵ヲ集合シテ之ヲ簡閱
シ平常ニ於ケル異動取扱ノ確實ヲ保
シ且必要ナル訓示ヲ下スヲ謂フ

第二款 簡閱點呼準備

第九十八條 簡閱點呼ノ準備ハ聯隊區
司令官之ヲ為スヘシ

第三款 簡閱點呼實施

第九十九條 簡閱點呼ノ時期ハ師團長
之ヲ定メ聯隊區司令官ニ達シ地方長
官並ニ憲兵隊長ニ通知スヘシ

第一百條 師團長ハ部下ノ尉官數名ニ簡
閱點呼執行官ヲ命ジ之ニ必要ノ訓令
ヲ授クヘシ

在郷下士兵卒及第一補充兵ノ人首僅
少ナル僻陬ノ地ニ在テハ師團長ハ其
ノ地ノ憲兵將校又ハ同下士ヲシテ簡
閱點呼ヲ爲サシメ若クハ之ヲ省略ス
ルコトヲ得

第一百一條 聯隊區司令官ハ其ノ管内ニ
若干ノ點呼場及之ニ屬スル點呼區域

並ニ點呼日割ヲ定メ之ヲ師團長ニ差
出シ同時ニ地方長官憲兵隊長並ニ簡
閱點呼執行官ニ通知シ郡長ニ達スヘ
シ
地方長官及郡長前項ノ通知ヲ受ケル
トキハ地方長官ハ之ヲ警察署長ニ郡
長ハ之ヲ町村長ニ達スヘシ
憲兵隊長第一項ノ通知ヲ受ケルトキ
ハ之ヲ其ノ部下ニ達スヘシ
第百二條 聯隊區司令官ハ各點呼場ヘ

參會スヘキ下士兵卒及第一補充兵ノ
點呼名簿及點呼令狀ヲ作り其ノ令狀
ハ之ヲ郡長ニ送付スヘシ
第百三條 郡長點呼令狀ヲ受領スルト
キハ直ニ之ヲ町村長ニ送付シ町村長
ハ之ヲ本人又ハ召集通報人ニ交付ス
ヘシ
召集通報人ヲ設ケサル不在者ニ在テ
ハ戸主ニ交付スヘシ
町村長ハ事故ニ依リ點呼令狀ヲ交付

シ得サル者ノ人名其ノ事由ヲ記シ憲兵及

警察官吏ニ通知スヘシ

第百四條 簡閱點呼參會者ニ代リ點呼

令状ヲ受領シタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ

本人ニ通報シ點呼令状ヲ速ニ本人ニ

交付スルノ處置ヲ為スヘシ

第百五條 點呼令状ヲ受領シタル下士

兵卒及第一補充兵ハ點呼令状ヲ携ヘ

指定ノ日時ニ點呼場ニ到リ簡閱點呼

執行官ニ届出ヘシ

第百六條 簡閱點呼參會者ニハ旅費日

當ヲ官給セス

第百七條 憲兵及警察官吏町村長ヨリ

第百三條第二項ノ通知ヲ受クルトキ

ハ簡閱點呼參會者ヲシテ所命ノ日時

ニ參會セシムルノ處置ヲ為スヘシ

第百八條 郡長並ニ町村長ハ簡閱點呼

ニ参列スヘシ

第百九條 傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ依

リ簡閱點呼ニ參會スルコト能ハサル

者ハ西村長ノ奥書證印ヲ受ケタル届
書ヲ郡長ヲ經テ點呼執行日時ニ簡閱
點呼執行官ニ差出スヘシ但傷痍疾病
者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フヘシ

第百十條 簡閱點呼參會者集合スルト
キハ簡閱點呼執行官ハ點呼名簿ノ順
序ニ從テ點呼シ所要ノ調査ヲ爲シ之
ニ必要ノ訓示ヲ與ヘ解散ヲ命スヘシ
第百十一條 正當ノ事由無クシテ簡閱
點呼ニ參會セサル者及第百九條ノ規

定ニ背ク者ハ五十錢以上一圓九十五
錢以下ノ科料ニ處シ又ハ五日以上十
日以下ノ拘留ニ處ス

正當ノ事由無クシテ第百四條ノ規定
ニ背ク者及簡閱點呼參會者點呼場ニ
於テ簡閱點呼執行官ノ命ニ服セス又
ハ其ノ職務ノ執行ヲ妨害スル者ハ一
日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第百十二條 簡閱點呼執行官簡閱點呼
ヲ終ルトキハ簡閱點呼結果表及報告

書各二通ヲ作り其ノ一通ハ師團長ニ
差出シ他ノ一通ハ聯隊區司令官ニ送
付スヘシ

附則

第百十三條 後備役屯田兵下士以下及
其ノ兵村ニ關スル事項ハ隊伍ニ編入
セサル豫備役屯田兵下士以下及其ノ
兵村ニ適用ス

第百十四條 本條例ノ施行細則ハ陸軍
大臣之ヲ定ム

第百十五條 本條例ハ明治三十年四月
一日ヨリ實施ス

